尾張旭市立城山小学校だより 第8号　　令和8年11月26日発行

風と緑と太陽

過程（プロセス）が大事

校長　野田 恵美

11月の集会では、以下のような話をしました。

今日は表彰の披露をしました。たくさんの子が賞状をもらうのでびっくりしましたし、嬉しかったです。また、賞には入らなかったけれど、たくさんの子が様々なことに挑戦してくれたことを先生は知っています。挑戦した結果、賞をもらったのは素晴らしいことですし、これからもそれを励みにさらにがんばってほしいと思います。

でも、反対に賞がもらえなかったことはだめなのでしょうか？ それは違います。だめなのは、賞を取れなかったからといって、自分はだめだと思ったり、取り組むこと自体をやめてしまったりすることです。

大切なのは、完成までにどのように考え、どんな思いをもってその作品をつくったか、ということなのです。国語の作文や詩、総合的な学習のまとめ、図工や家庭科の作品にしても、完成させるまでには必ず、自分の考えや理由、こうしたいという思いがあるはずです。その思いを形にするためにどうしたらよいか、何が必要かを考えますよね。その自分で考える、という活動が大事なのです。そして、「これまでに習ったことを利用しよう！」、「もっと調べよう！」と工夫したり、先生や友達に相談したりして、具体的にどうするか決め、作文にしたり、絵に表したりしていきますよね。



シン★キング

校長先生は、自分の考えや思いを大切にし、その途中に行っている活動も大事にしてほしいな、と思っています。そして作品に込めた思いや考えをぜひ進んで、周りの人に伝えてほしいと思います。お互いに他の人の考えを知ることで、さらに新しい考えや発見が生まれるからです。

学校では、授業中にクラスの子やグループで伝え合う場面があると思います。そのときに、今までよりくわしく自分の考えや気持ちを書いたり、言ったりするよう意識してみてください。

どんなこともその完成や結果に至るまで、その作品ができあがるまでの途中の活動の中に、学びを広げるチャンスや学ぶ力を伸ばすチャンスがあるのです。

本校の集会はオンラインですが、いつも子供たちは真剣に耳を傾け、聞いてくれます。現在の教育活動は、教科を問わず、過程（プロセス）を大切にするという方向です。加えてそれを他へ伝える力も必要です。中学や高校でも「あなたはどのような過程を経て今の意見になったのですか？」「どうしてこのように表現したのですか」という部分が問われます。

この日はもう一つ話しました。それは「タブレットは学習に使うもの」ということです。

みなさんが使っているタブレットは、尾張旭市が勉強に使うために9年間貸し出してくれているものです。自分の好きな動画やゲームを勝手に見るためのものではありません。



また、学習に使っているとしても、あまりに長い時間使い続けるのは目や脳にとってよくありません。宿題をやるときも、低学年では30分、高学年でも60分をめどにしましょう。おうちの人ともタブレットの使い方を話し合ってみてくださいね。

学習用タブレットはその目的や使用時間を誤っては良さが生かされません。タブレットの使い方について、ご家庭でも今一度話題にあげ、確認をしていただけるとありがたいです。